

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	edu.base谷山			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月11日		～	令和7年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	令和7年 1月11日		～	令和7年 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童のことを十分理解し、児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画を作成して支援に取り入れられている。	見学時や契約時に児童の詳細な情報を収集した上で事業所内で支援内容検討している。またモニタリングで得た情報も全職員で共有して支援に取り入れるようにしている。	学校や関係機関との連携をより密に行い、より詳細な情報を知り得た上で計画書を作成し支援に取り入れよう努める。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないようにしている。	様々な活動内容を日々模索している。また祝日や土曜に関しては様々な体験学習できるよう調整している。活動内容はそれぞれの児童に合わせた活動難易度の調整を行っている。	保護者参加型の活動の導入や放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこども達の交流が出来る機会を設けられるよう努める。
3	事業所内空間は清潔に保ち、心地よく過ごせる環境に調整して児童たちが安心感をもって通所できるようにしている。	活動終了時に職員と児童で掃除の時間を設けている。また児童たちにとって気持ちの切り替え等が出来るよう個室を準備してある。	事業所内設備や物品の整理を行うことでより広い空間を作り、児童たちにとって楽しく安心して過ごせる環境作りに努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定しているが、保護者に周知・説明する機会は少ない。また発生を想定した訓練や防災訓練を児童と共にしているが全ての訓練を児童と行っていない。	マニュアルに関しては契約時に説明は行っているが、それ以降伝える機会があまりないことや緊急時の訓練も行っていないが回数が少ないこともあり保護者に伝わっていない現状がある。	保護者会などの機会に再度、マニュアルについて説明を行う。また緊急時の訓練についても訓練風景などをLINEのVOOMやInstagramなどのSNSを活用して周知を図るよう努める。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があまりない。	関係施設の児童との交流は行っているが、地域のこども達と交流する機会は設けられていない。	今後は地域のイベント等に参加する中で地域の児童と交流できる機会や他施設放課後等デイサービスとの繋がりを持ち、定期的に交流できる環境を作っていくよう努める。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行うことが出来ていない。	家族に対して情報共有は行っているが、家族に対しての支援は行っていない。また研修会などの情報を入手する機会があまりないこともあり、家族に対して提案も出来ていない。	職員一人一人の知識技術の向上を図り、家族に対しての支援を行える体制作りが必要。また研修会等の情報を入手する手段を検討して、保護者の方に提案できる環境を作れるよう調整する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	edu.base谷山
------	------------

公表日 R7年2月26日

利用児童数 40

回収数 26

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2	1	0	・活動の内容による ・本人が体が大きいこともあり、もう少し広い方がと話すことがあります。 ・ボールが飛び交ったりするときにちょっと狭いかなと思うそうです	・事業所の整理整頓を行い、活動スペースを広げられるよう努める。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1	0	0	・スタッフが毎日何人いるのか自分が把握出来てない	・職員の入れ替わり等があった際は書面やSNSにて通達を行い、職員を多く配置できていることを周知するよう努める。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	3	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	1	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	3	0	0	・支援の様子をみていないのでわからない ・他の子とも一緒なので、適当かは分かりません。	・引き続き児童の特性を把握して、職員間で共有が図れるよう努める。また日々の記録の中や送迎時に伝えられることは伝えるよう努める。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	2	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	10	3	0	・そのような取り組みがあることを知りませんでした。 ・わからない	・今後は児童クラブや地域のこどもとの関わりを持つことができるよう連携を図る。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	6	0	0	・そのような取り組みがあることを知りませんでした。	・モニタリングや保護者会を行う中で伝えられるよう努める。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25	3	0	0	・日頃はないです。	・日々の記録の中や送迎時に伝えられることは伝えるよう努める。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	4	1	0		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	5	0	0	・参加しないので ・そのような取り組みがあることを知りませんでした。	・今後はSNSや保護者会にてイベント等を行っていることを周知していく。またイベント等を通して交流出来る機会を多く設けられるよう努める。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	3	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	4	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	11	0	0	・そのような取り組みがあることを知りませんでした。	・モニタリングや保護者会を行う中で伝えられるよう努める。またSNSにて訓練の風景などの写真を添付して、よりイメージが湧きやすい工夫する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	11	0	0	・そのような取り組みがあることを知りませんでした。	・モニタリングや保護者会を行う中で伝えられるよう努める。またSNSにて訓練の風景などの写真を添付して、よりイメージが湧きやすい工夫する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	4	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	4	0	0	・速やかではない ・そのような状況になったことがありません。	・再度職員間で事故発生時のマニュアルを見直して、迅速に対応できるよう努める。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2	1	0	・これはうちの子がスゴく行きたいわけではないからです ・楽しんで通ってます	・児童にとって、楽しく成長できる環境を模索して提供できるよう努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	edu.base谷山					
			公表日	R7年 2月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		備品設置場所の調整を行っている。	基準上は問題はないが、今後も常に備品等の設置位置等の調整を行い、スペース確保を行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		1日の職員配置を適切に保つために、職員の休みが重ならないように配慮している。	引き続き児童に対しての職員数を保てるよう努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		見通しが立てられるよう1日のスケジュールを白板に示している。またトイレの位置や荷物の置き場所等も提示している。	今後はバリアフリー化できるよう手すり等の設置等を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		活動終了後に清掃を行い、事業所を清潔に保っている。	活動内容に応じて心地よく過ごせるよう、随時工夫をしていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		気持ちの切り替えなどが必要な際など状況に応じて提供できる場所が確保できている。	個室の整理整頓を行い、児童たちが落ち着ける環境に調整する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		会社全体で業務改善委員会を設立し、委員会を中心に各事業所で業務改善を図っている。	職員間で情報共有は図り、児童一人一人に対して同じ支援を提供できるよう努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表を元に改善できる点は早急に改善を図っている。回収率が不完全な部分もあるので回収の徹底が必要。	頂いた意見を参考に改善を図り、より良い支援が提供できるよう努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員が相談しやすい環境は整備されておりその都度相談が行えている。	引き続き相談できる環境作りを怠らないよう努める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現状実施できていない。	今後、外部評価を行い、より良い支援に繋がるよう努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		様々な講師の方をお招きし研修を実施できている。	引き続き多くの職員が参加できる体制を作っていけるよう努める。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムを作成し公表しており、その日の様子などもインスタグラムやlineoomでも公開している。	支援プログラムが多くの保護者の方に伝わるよう今後も工夫していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		担当を中心に会議を行い管理者や他職員からの意見などを反映しつつ保護者に提案を行い、保護者と話し合いのうえで作成している。	モニタリング等で上がった課題に関しては随時計画書に反映して、支援していけるよう努める。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		作成時は担当を中心に実施しているが、相談などをする時間を設けておりその場で修正加筆をしつつ児童への支援を最優先に実施している。	職員間で情報共有は図り、児童一人一人に対して同じ支援を提供できるよう努める。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画作成後は全職員が確認できる環境の整備を行いつつ、特記事項など必要に応じて共有できている。	常に職員が計画を見ることができるようになっており、計画の確認や共有を今後も行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・個人ファイルなど職員が自由に見れる環境を整備しつつ担当者会議やモニタリングなどで得た情報も職員間で共有する時間も設定できている。	アセスメントツールをどの職員も一定に使用できるよう今後も使い続けながら研修を行っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・家族支援にまだ課題があるが、本人支援や移行支援などはしっかりと行っており家族支援についても保育所等訪問の打診などを行い参加できるよう取り組みを開始できている。	本人支援、家族支援を中心に支援内容を考える機会が多いので、今後は地域支援にも目を向けてよりよい支援内容を検討していけるよう努める。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・立てたプランに対し、その日に合わせて詳細を決めることが出来ている。	専門職によるアセスメントを基に活動プログラムにも反映しているが、より専門的に活動プログラムの立案を行っていく。

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・様々な種類の活動が各曜日にバランスよく分散するようカリキュラムを作っている。	定期的に新規の活動を立案していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子供の状況に合わせて計画を立てることができている。	引き続き行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・前月に計画を作成し準備を開始し、当日朝礼や前日などにも確認と共有を実施している。	支援を行う目的等も把握したうえで支援に臨めるよう努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・気付いた点や気になった点などを毎回確認を実施できている。	児童一人一人の課題を意識して全職員が支援に臨むよう努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎回全員の支援記録を作成し管理者に報告も実施できている。	客観的な事実をより分かりやすい文で記録できるよう努めたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・毎月の動向などを確認しつつ定期的に実施できている。	モニタリングを行うにあたって、児童一人一人ケース会議を行い、より詳細な情報を保護者の方に伝えられるよう努める。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		・計画に基づき実施できている。	引き続き意識しながら支援を提供できるよう努める。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・判断力など個人差がまだ大きく、できている児童とできていない児童があり安全面などを優先することもある。	安全性も考慮する中で自己決定を養える支援を提供できるよう検討する。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当が管理者と打ち合わせを実施したうえで、管理者またはリーダーが参加している。	担当者会議前に職員間での情報共有や方向性を決めて取り組んでいるため継続して行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・各連絡先や緊急時のマニュアルを作成・掲示を行っており職員間で把握できている。	今後も情報共有を図れるようにしていきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・利用児童によっての偏りはあるが、交流級の担任の先生および支援級の担任の先生の把握および連絡などを行えるよう整備されている。	引き続き情報共有を行い、漏れがないように努める。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保育所や幼稚園等との連携ができていない部分がある。	今後は新1年生の児童について、利用開始前の段階でより情報を集められるようにしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		主に管理者が担当をし移行支援を家庭および関係機関と実施している。	今後は可能な限りで担当者会議を開催して、情報共有を図る機会を設けるよう努める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		全体会議の場において様々な専門機関の方たちから研修を受ける機会を定期的に実施している。	今後は地域や児童発達センターなどの連携を図れるよう努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現状実施できていない。	地域との交流をどのように行うかを職員間で検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		現状実施できていない。	情報収集不足により、会議開催等の実際が把握できていないため、自立支援会議等の参加を踏まえた情報収集を行っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		問題があった際だけではなく、成長を感じた場面などを共有し連携を図りながら実施している。	送迎時や連絡ツールでのやり取りを通じて保護者と情報交換を行い、共通理解を持つよう努めている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会の実施だけでなく保護者参観期間を新しく設けるなどご家庭の方にも支援の場をより知ってもらえるよう実施している。	定期的な面談を行い、困り感を把握しサポートを行っていく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時だけでなく事前にご家庭の負担部分がある際は連絡を行い判断をおおげすように実施している。	今後もより伝わりやすいように工夫しながら、行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		常に相談窓口を設けており保護者の方からの声をいただける環境を整備し、またこちらからも気づきなどがあった際はご連絡するようしている。	引き続きいつでも相談できる環境作りを努める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリング後など必ず保護者の方に相談と同意を得て実施している。	今後もより伝わりやすいように工夫しながら、行っていく。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		常に相談窓口を設けており保護者の方からの声をいただける環境を整備し、またこちらからも気づきなどがあった際はご連絡するようしている。	主に保護者会での相談会が主となっているため、悩み事の把握や相談できる環境を増やしていく必要がある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		支援見学や保護者会を開催し保護者同士や保護者と支援者との交流を深めることができた。	今まで以上に保護者同士、兄弟間の交流する機会を多く設けられるよう努める。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		基本管理者が対応を行い当該職員だけでなく再発防止につとめるよう情報共有に努めている。	引き続き苦情等があった際は迅速に対応し、職員間で改善案を検討できるように努める。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラムやLineoomなどを活用し当日の様子など個人情報の取扱に留意しながら情報発信を行っている。	より伝わりやすいよう表現方法などを模索していきたいと思う。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人ファイルを作成し、関係者以外は閲覧出来ないような環境で保管している。	引き続き情報の漏洩等がないよう努める。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		契約時の確認からしっかりと行い各職員に情報共有を徹底できている。	事前に意思伝達方法など情報共有を図り、日々の関わりを通じたアセスメント結果を基に職員で共通した配慮ができるようにしていく。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現状実施できていない。	活動を通して、地域の方と交流する機会を持てるよう調整を行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		全職員が確認できる場所に掲示を行い、各種訓練なども定期的の実施している。	様々なマニュアルの更新を行い、その内容を保護者様にも共有できるよう努める。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定をし全職員が確認できる環境を整備している。	訓練を定期的の実施するよう努める	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認を実施し全職員に共有を行っている。	引き続き契約時に情報収集を行い、対応策を職員間で共有、検討を行っていく。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認を実施し全職員に共有を行っている。医師の指示書などはない児童もいるので整備課題ではある。	今後は可能な限りで医師の指示書や意見書等を事前に見せてもらい、支援時に注意を図れるようにする。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		各種研修や訓練を実施しつつマニュアルの掲示も実施できている。	職員間での共通認識を今後も図っていく。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画自体は実施できるが家族との連携部分にまだ不安要素もあり今後の課題	今後は家族との連携が図れる体制作りを行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		各事業所内だけでなく、会社全体でも共有をはかり再発防止に努めている。	今後も職員間で共有して支援の向上に努める。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年必ず研修を実施各職員が意識できる環境整備をしている。	引き続き意識しながら支援を提供できるように努める。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		計画書については未記載の場合もあるため、改善をしていく。	計画書については未記載の場合もあるため、改善をしていく。		